

神奈川県立岸根高等学校 令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

・令和6年7月4日(木) 16:00～ 岸根高等学校会議室

- ・出席者：・学校運営協議会委員・長島 由佳様(すこやかサークル会長)、
太田 早織様(神奈川大学人間科学部助教)、小澤 孝之様(篠原西小学校校長)、
丹羽 滋子様(ママしのはら保育園園長)、
三田 敏幸様(岸根町内会長)、望月 選様(F・マリノススポーツクラブ理事)、
奥山 恭子様(岸根高等学校PTA会長)、久祢田 啓嗣(岸根高等学校校長)
- ・職員・三上 実(副校長)、井浦 洋(教頭)、久保 裕紀(カリキュラムG総括)
松井 浩気(キャリア支援G総括)、菊本 亘孝(サポートG総括)、
藤田 祐一郎(生活支援Gサブリーダー)、田口 和忠(地域連携協働G総括)、
川崎 陽香(学校管理運営G総括) ※G = グループ
- ・欠席者：濱崎 利司様(篠原中学校校長)、長谷川 樹生様(篠原幼稚園園長)

(1) 委員委嘱

(2) 開会

- ① 校長挨拶
- ② 会長挨拶

(3) 委員自己紹介

(4) 要綱確認

岸根コミュニティ・スクール概要(別紙)

(5) 報告事項

- ① 部会の確認について(別紙)4つの部会紹介
岸根コミュニティ・スクール概要(別紙)
- ② 令和6年度学校運営協議会年間計画について
- ③ 令和5年度学校評価について (学校要覧、の記載確認)

(6) 協議事項

- ① 令和6年度から4か年の学校教育目標について
- ② 令和6年度学校教育目標について
 - ・校長より
 - ・各グループから概要説明
 - 1、カリキュラムG久保総括教諭より…生徒の主体性を尊重し、夏期講習等生徒の意思を尊重していく。
 - 2、キャリア支援G松井総括教諭より…例年の進路実績が少しずつ進学率や上位大学への合格数が増えてきた。社会に出て自分達で問題解決出来る人材の育成に努めていく。
 - 3、サポートG菊本総括教諭より…生徒と共に楽しみながら取り組んでいく、生徒と共に

事を進めていけるようにサポートしていきたい、生徒自ら運営を行い成功させるように支援していく。部活動についても例年の課題を踏まえサポートをしていく。入部率自体は大きな変化はないが継続して続けるための工夫やサポートをしていきたい。各部活の成績についても今年度も頑張っていてほしい。パラリンピックへ出場する生徒も居るので今後とも支援をしていきたい。

- 4、生活支援 G 藤田教諭より…落ち着いた生徒が多いが、進路に対してや友人関係など精神的な不安を持っている生徒をいかに安心させていけるか。

サポートドックの活用を通して面談や SC、SSW につなげたり、気になる事は教員間で共有し、ケース会議等を開き情報の共有を行っている。また自転車の事故等についても交通安全教育も進めている。学校が安全で安心な場所であるところであると思ってもらいたい。教育相談にシフトしてきている。

- 5、地域連携 G 田口総括教諭より…すこやかサークルやすこやか祭りに向けて動いている。地域交流を通じて地域から応援される生徒を増やしていきたい。

- 6、学校管理運営 G 川崎総括教諭より…教育環境の整備、ICT 関係はコロナ禍の影響もありハード面のサポートや設備を整えていっている。事故不祥事防止への研修等を開き事故防止に努めることにより、生徒へ還元していけるようにしたい。

③ 令和6年度不祥事ゼロプログラム

別紙、HP にも掲載されている9つの課題を意識して進めていきたい

(7) 質疑応答・意見交換

・太田様より…保健体育の教員育成の観点から、授業研修会をどのように進めているのか聞きたい
回答(久保総括教諭)→ロイロノートなど ICT 活用の共有研修会等取り組んでいる、職員全体で取り組んでいる、11月に校内の研究授業等を行っている。

・小澤様より…ロイロノートの小学校での活用の仕方を少しずつ広げている、これが高校でも引き続き継続して活用できる事は素晴らしい。今の時代の生徒指導の形が変わってきている事に対して支援をしていくというところでサポートしている体制は引き続き必要である。

・丹羽様より…やりながら考えるという力を育てるために授業等での教員の工夫や努力は素晴らしい。地域として引き続き何かしら協働していきたい。コミュニケーション能力の低下を感じる…自己肯定感が低かったり自信の持てない人が多く感じる

○メタ認知についての質問…(久保総括教諭回答)主体的に取り組む姿勢とメタ認知能力の育成のためにどうしたら良いのかをテーマにしたが、テーマ自体が難しく結果にうまく繋がらなかったが、どのように分かりやすく整理して実施していく傾向はみえてきている。

○生徒指導支援の心のサポート事業…(藤田教諭回答)県の方から教員への研修や外部から講師を呼び、積極的に取り組む、2年間限定で県からの支援のもと様々な研修等に取り組んでいる。1年生向けの全体研修会等も7月に実施予定。岸根高校だけではなく外からの情報や知識を得て取り組んでいる事業である。

○部活動の退部理由からサポートの仕方…(菊本総括教諭回答)生徒それぞれの部活動に対する思いを統括し生徒に寄り添った指導を継続していきたい。

- ・三田様より…地域との連携、すこやか祭り等での関わりの中で今後も続けていきたい。防災の観点からもコロナ禍で継続がなかった分野で新たに進めていきたい。避難所や防災グッズが岸根町の倉庫にあるので防災面は何かを共に検討していきたい。
- ・望月様より…部活動の中途退部や部活動を終えて目標を失ってしまう事のないようにしたい。今年のスこやか祭りでは岸根高校のサッカー部主導のもと進めていきたい、その様子を見ながらサポートしていければよい。
スマホでの会話だけではなくスポーツを通じた会話等を大切にしていきたい。
(菊本総括教諭回答) …生徒それぞれの思いや目標の理解と共有、コミュニケーションを通して相互の理解が必要。
- ・奥山会長より…PTAの担い手が居なくなりつつあり、交通安全への教育、自転車点検等含めて学校と協力してサポートしていきたい。
(藤田教諭回答) …下校時に声かけを行い生徒に安全意識を持ってもらい、また、保護者の方からも声かけしていただき協力していきたい。
- ・長島会長より…良い環境をつくる必要がある。生徒を導く際に大人が楽しそうでなければ生徒も楽しくない。部活動で教員の描く生徒の姿はどういったものか。大会結果や部活の参加率を上げたいのか。働き方改革と言われている中で部活動をどのように調整をしていきたいのか。新たな取り組みとして地域の外部講師を導入することが大切な1歩目になっていく。学校はどんなグラウンドデザインを考えているのか(質問①)
(①菊本総括教諭回答)「部活の具体的な方向性はない。今後変わっていくのではないかと思う。部活の中心は生徒。ただし、生徒に任せると楽な方に行く。今の時代に合わせて、やれることやりたいことを探していく。」
生徒アンケートの実施タイミングはどうなのか。どういったことに活用させる目的でアンケートをするのか考えていきたい。(質問②)
(②藤田教諭回答)「サポートドッグは県からの指示がある。県が質問項目を作っている。学校独自の問題を追加することができるが、手続きに若干の時間を要する。」
こころサポートが2年間終わったら、どうするのか。保育園や幼稚園の協力を仰いだり連携したりすることによってこころサポートの継続はできないのか。(質問③)
(③藤田教諭回答)「こころサポート事業を2年間で終わらせるのはもったいないと感じている。同様の取り組みを地域等の協力を活用して継続していきたい。」

(8) 閉会